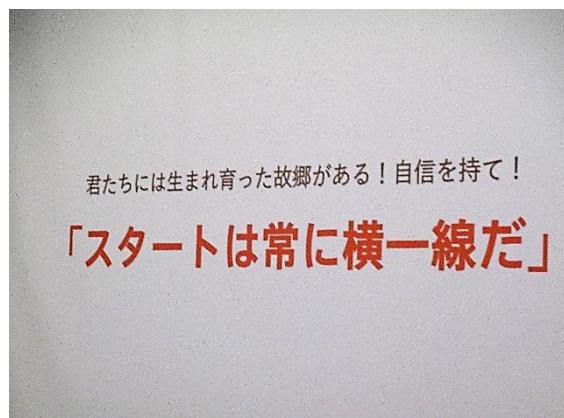


7月16日リニューアルした「いいづな歴史ふれあい館」の設計士、(株)コプレイスアーキテクト 小松剛之さんの講演会がありました。これまでの自分の人生を振り返り、中学3年の時の友達との会話で「建築に目覚めた」ことや東日本大震災で被災地の復興に関わる中で出会った中学生の「故郷を想う」言葉から「自分の故郷に恩返しをする」ことを決意したこと等の経験をもとに、母校の生徒たちに飯綱町への思いを語ってくれました。



【生徒の感想より】

- ・ 中学3年生の時に友達の話から自分のやりたいことが決まったと言っていました。何気ない日常の会話から自分の人生が始まったと聞いてすごいなあと思いました。(1年生)
- ・ 好きなことをやっていても仕事になることが分かったし、「スタートラインはいつもみんな一緒」ということを教えてもらってよかった。(1年生)
- ・ 「歴史ふれあい館」の建築に関わっていたと知って驚きましたが、ほかにも「泉が丘喫茶」や「パカーンコーヒー」のデザインも考えていると聞いて驚きました。総合の授業でやったことが建築士になるきっかけになったそうなので、自分たちがやっている探究の授業も1時間1時間大切にやっていきたいです。(2年生)
- ・ 将来のことは、ほんの少しの出来事で決まるんだなと思いました。私は、ドラマや病院で働いている人を見て、医療関係の仕事が素敵だなと思っています。自分の夢を実現するために学力をつけたいと思っているので頑張りたいです。(3年生)

7月16日朝、読み聞かせがありました。3年生は、穏やかな表情で中国民話「岩じいさん」、絵本「あまいトウモロコシとカタイトウモロコシ」の話を聴き入っていました。

